

☆目標☆

Java script の変数について理解する

下準備 新しいプロジェクトから「クラシック」を選びます。

練習 1 文字を表示させよう。

JavaScript は<script>タグの中に下の文を打っていきます。

```
<script>
alert("こんにちは");
</body>
```

☆「alert」で
表示させます。
文字の表示には” ”が必要です

●終われば消すともったいないので **ctrl + /** でコメント化すると
他のプログラムに影響でないです

練習 2 別の方法で文字を表示させよう。

```
<script>
document.write("こんにちは");
</body>
```

☆「document.write」で
表示させます。
文字の表示には” ”が必要です

☆JavaScript での文字の表示のさせ方は「alert」 か「document.write」
を使ってください。

説明 変数について。(教科書 P.102 参照)

- ・変数とは、データ（文字や数値など）を入れておくような箱のようなものです。
その箱から数値などを取り出して使います。
- ・数学の代入に似ています。

・変数の宣言を行う方法は主に 2 つあります。

①a という変数を宣言しそこに 2 を代入します

```
var a;
a=2
```

②a の変数と同時に初期値を設定します。

```
var a=2;
```

☆変数を宣言するときは「var」を使います。

練習 3 実際に変数を宣言し、表示されるか確認してみよう。

```
<script>

var a=2;
var b=4;
document.write(a+b);

</script>
```

変数 a=2,b=4 を宣言します
文字には” ”が必要ですが
数字には必要ありません。

練習 4 変数+文字を表示してみよう。

「計算結果は 6」という結果を表示します。

```
<script>

var a=2;
var b=4;

var c=a+b;
document.write("計算結果は",c);

</script>
```

変数 c=a+b を宣言します。

●算術演算について

+	足し算を行う。
—	引き算を行う。
*	掛け算を行う。
**	べき乗を行う
/	割り算を行う。
//	商を求める
%	割り算を行い、余りを得る。

練習 5 数字を入力できるようにしてみよう。

```
<script>  
    prompt("数字は？");  
</script>
```

練習 6 prompt に変数を入れ、その変数が表示されるようにします。

```
<script>  
    var score=prompt("数字は？");  
    document.write(score);  
</script>
```

基礎課題 1 「変数 a=5 b=8 c=10」を使い
「計算結果は 2 3」となるようにプログラムを作ってみよう。

基礎課題 2 底辺=5 高さ=5 の三角形の面積を求めるプログラムを作ってみよう。
実行結果が「三角形の面積は～」と表示されれば OK です。

※～には数字が入ります。

発展課題 1 上底4cm、下底5cm、高さ3cm の台形の面積を算出するプログラムを作成しよう。

発展課題 2 input()を使い、底辺と高さの数字を入力させ、三角形の面積を求めるプログラムを作ってみよう。

●改行したい場合は document.write の中に
タグを入れ込みます

例) document.write("
");と入力してください